



社会教育主事リレートーク

教えてあなたの学校の「ヒト」「モノ」「コト」

宇都宮市立明保小学校
大関 東幸



明保小は、宇都宮市の西部にあり、学区は広く、住宅地に自然が残る地域で、田畑やナシ・ブドウ等の果樹栽培も盛んです。学校での活動には、地域協議会の方が中心となって、クレヨンの会の読み聞かせや緑化活動、ミシン等のボランティアを募集するなど、様々な教育活動に協力していただいています。その中に、小学校周辺にアジサイを植樹し、フラワーロードとして長年管理している「アジサイ部会」があります。児童会主催の「フラワーロード集会」への協力や、花期後の手入れをしていただいて、毎年の梅雨時期にきれいな花が見られます。今年で創立150周年を迎え、学校だけでなく地域の方々もお祝いをしています。今後とも学校と地域が連携し、明保小がさらに発展していくことと思います。

上三川町立上三川小学校
吉澤 貴美子



上三川小学校は、今年で創立150周年の伝統ある学校です。7年前にコミュニティ・スクールになってから、クラブ活動や家庭科、書道の授業などに、たくさんのボランティアの方が来てくれます。昨年度は、上三川町商工会女性部主催の「キャンドルナイト」に6年生がボランティアとして参加しました。『普段お世話になっている地域に貢献できた』と子供たちも大満足でした。今年も、学校支援コーディネーターの協力で、3年間コロナ禍でできなかった「サマースクール」を再開したり、「上小みんなでリユース」と題して家庭にあってまだ使える物を集めて、必要な人に使ってもらう活動を始めたりしました。これからも、地域とともにある学校であり続けたいと思います。

それいけ!

ふれあい学習応援隊

よりよい学級づくりのために
～外国籍の児童とどう向き合うか～

7月5日に、宇都宮市立築瀬小学校で支援訪問として教職員を対象とした人権教育に関するふれあい学習出前講座を実施しました。

【テーマ】

- ・多様な国籍の児童が抱える不安や悩みを理解し、一人一人の人権を尊重した、よりよい学級経営・学校経営に向けて心掛けたいことや自分にできることについて考える。

【先生方からの感想】

- ・子どもたちの人権感覚を磨くことができる担任を目指したい。そのために、まずは自分自身の人権感覚を磨いていきたい。
- ・外国籍児童が自身の母国に誇りをもって、日本でも楽しく学校生活を送れるように環境を整えていきたい。

文化や習慣に違いがあることを念頭に置いて、それぞれの違いを個性として認め合えるようにしていきたいですね。



ふれあい学習課

地域の絆を深める「本郷祭り」

6月15日に、上三川町立本郷小学校で3年ぶりとなる「本郷祭り」が学校とコミュニティ推進協議会との共催で開催されました。

児童と地域の方々との交流に加え、学校を核とした地域づくりを進めるための重要な役割を担っている本行事は、地域の方々から強い要望があり、今年度復活しました。「おはやし」「竹細工」「折紙」などのブースでは、児童と地域の方々とともに満面の笑みで活動する姿が印象的でした。地域の方々も「子どもたちとふれあえて楽しかった。是非来年も実施したい」と力強く語っていただきました。児童からは「昔遊びは難しかったけれど、地域の方々にコツを教えもらってできるようになった」「大人になっても地域とのつながりを大切にしたい」という感想が寄せられました。いつもの授業とひと味違った学びの場になったようです。



ふれあい学習に関するお問合せ、情報は、下記まで御連絡ください。

河内教育事務所ふれあい学習課 TEL 028-626-3183 E-mail: kawachi-fureai@pref.tochigi.lg.jp

